

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	●研究の名称 肝胎児性肉腫の原因遺伝子解析 ●研究の対象 肝胎児性肉腫、肝間葉系過誤腫の患者さんの治療を受けられた方 ●研究の目的 肝胎児性肉腫は、小児肝悪性腫瘍の第 3 位となる病気です。抗がん剤治療や手術が進歩し、治る患者さんが年々増えていますが、これらの治療が効かない患者さんが治る見込みは非常に低く、新しい治療の開発が期待されています。肝胎児性肉腫やその類縁の病気である肝間葉系過誤腫は稀な病気で、その原因となる遺伝子は分かっていません。そこで私達はこの病気の遺伝子解析を行うこととしました。本研究の目的は、病気の原因となる遺伝子を同定することで、病気の診断や新しい治療方法を発見することです。 ●研究の期間 倫理委員会承認後から 2027 年 7 月 8 日まで ●他の機関に提供する場合には、その方法 共同研究機関である京都大学への試料ならびにデータの提供は、郵送で行います。診療情報などを記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、個人情報分担管理者が保管・管理します。
利用し、又は提供 する試料・情報の 項目	●研究に使用する試料・情報： 試料：手術で摘出した組織、血液など 情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号等

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 京都大学医学部附属病院 小児科 講師 梅田 雄嗣
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 京都大学医学部附属病院 小児科 講師 梅田 雄嗣 浜松医科大学医学部附属病院 外科学第二講座 助教 森田 剛文
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：外科学第二講座 担当者：森田 剛文 TEL：053-435-2279 FAX：053-435-2273 E-mail：yoshi-mo@hama-med.ac.jp